

## 日田市の給与・定員管理等について

### 1 総括

#### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (22年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 21年度の人件費率
年度	人	千円	千円	千円	%	%
22	71,889	39,061,738	1,444,329	6,050,275	15.5	15.7

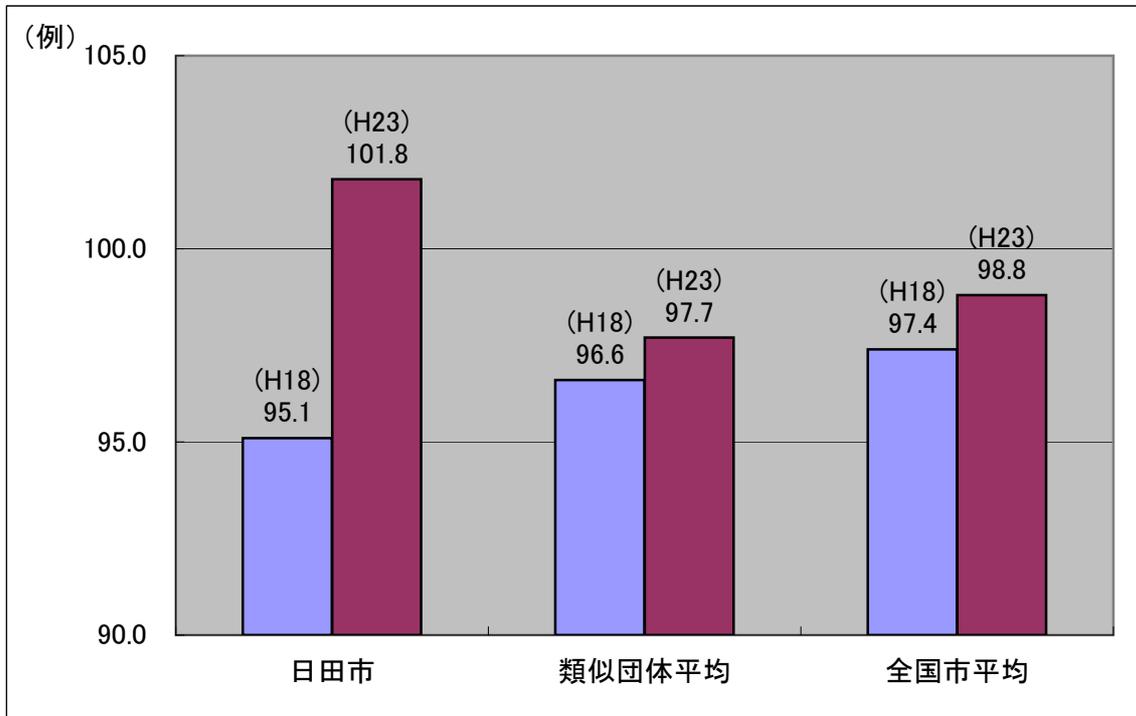
#### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				1人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
年度		千円	千円	千円	千円	千円
22	598	2,603,892	467,371	952,574	4,023,837	6,729

- (注) 1 職員手当には退職手当を含みません。  
2 職員数は、22年4月1日現在の人数です。

#### (3) 特記事項

#### (4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。  
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

## 2 一般行政職給料表の状況（平成23年4月1日現在）

（単位：円）

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
1号給の給料月額	135,600	185,800	222,900	261,900	289,200	320,600	366,200	413,000
最高号給の給料月額	243,700	309,200	356,400	390,100	410,300	437,600	461,400	480,500

## 3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（23年4月1日現在）

### ①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
日田市	44.2 歳	352,000 円	418,274 円	379,967 円
大分県	43.9 歳	349,166 円	422,074 円	377,980 円
国	42.3 歳	327,205 円	-	397,723 円
類似団体	43.7 歳	332,547 円	401,218 円	362,919 円

- (注) 1 「平均給料月額」とは、23年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
- 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。
- また、「平均給与月額（国ベース）」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

(2) 職員の初任給の状況 (23年4月1日現在)

区 分		日 田 市	大 分 県	国
一般行政職	大 学 卒	178,800 円	178,800 円	172,200 円
	高 校 卒	144,500 円	144,500 円	140,100 円
技能労務職	高 校 卒	144,500 円	140,100 円	— 円
	中 学 卒	— 円	— 円	— 円
教 育 職	大 学 卒	— 円	— 円	— 円
	高 校 卒	— 円	— 円	— 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況 (23年4月1日現在)

区 分		経験年数7～10年	経験年数10～15年	経験年数15～20年	経験年数20～25年
一般行政職	大 学 卒	243,700 円	281,000 円	336,100 円	377,100 円
	高 校 卒	209,700 円	244,000 円	294,900 円	346,600 円
技能労務職	高 校 卒	— 円	— 円	— 円	— 円
	中 学 卒	— 円	— 円	— 円	— 円

(注) 技能労務職の職員については、平成23年4月1日現在おりません。

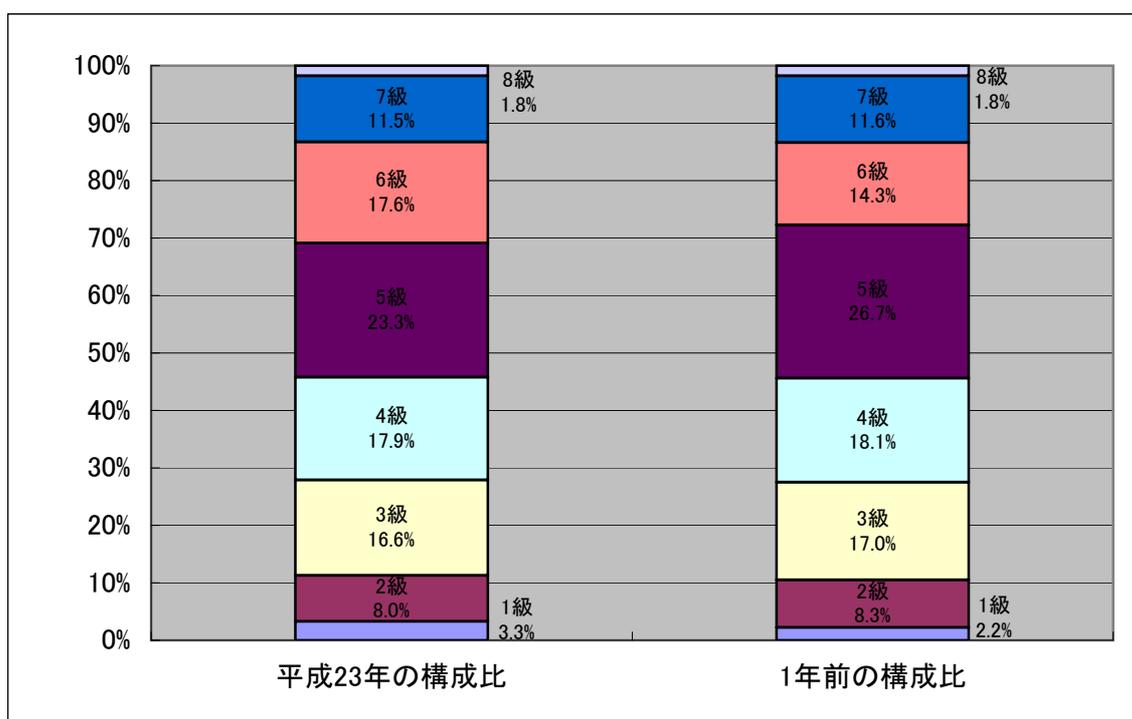
#### 4 一般行政職の級別職員数等の状況

##### (1) 一般行政職の級別職員数の状況 (23年4月1日現在)

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1 級	主事補及び技師補の職務又はこれらに相当する職務	18人	3.3%
2 級	主事及び技師の職務又はこれらに相当する職務	44人	8.0%
3 級	主任の職務又はこれに相当する職務	91人	16.6%
4 級	副主幹及び主査の職務又はこれらに相当する職務	98人	17.9%
5 級	係長、専門員並びに特に高度の専門的な知識若しくは経験を必要とする業務を行う副主幹及び主査の職務	127人	23.3%
6 級	所長、寮長、館長、場長、園長、課長補佐、次長及び主幹の職務並びに特に高度の専門的な知識若しくは経験を必要とする業務を行う係長、専門員又はこれらに相当する職務	96人	17.6%
7 級	課長、室長、所長、局長及び参事の職務又はこれらに相当する職務	63人	11.5%
8 級	部長、次長及び参与の職務又はこれらに相当する職務	10人	1.8%

(注) 1 日田市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(注) 平成18年に9級制から8級制に変更しています。(旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合)

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

病気休暇日数等の勤務状況及び勤務評定により昇給を判定。

5 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

日 田 市				大 分 県				国			
1人当たり平均支給額 (22年度) 1,574 千円				1人当たり平均支給額 (22年度) 1,620 千円				—			
(22年度支給割合)				(22年度支給割合)				(22年度支給割合)			
期末手当		勤勉手当		期末手当		勤勉手当		期末手当		勤勉手当	
2.60	月分	1.35	月分	2.60	月分	1.35	月分	2.60	月分	1.35	月分
(-)	月分	(-)	月分	(1.45)	月分	(0.65)	月分	(1.5)	月分	(0.65)	月分
(加算措置の状況)				(加算措置の状況)				(加算措置の状況)			
職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~15%				職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10%				職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%			

(注) ( ) 内は、再任用職員に係る支給割合です。

【参考】 勤勉手当への勤務実績の反映状況 (一般行政職)

基準日以前6ヶ月以内の勤務状況(病気休暇、育児休業等)に応じた期間率を反映。

(2) 退職手当 (23年4月1日現在)

日 田 市				国					
(支給率)	自己都合		勸奨・定年		(支給率)	自己都合		勸奨・定年	
勤続20年	23.50	月分	30.55	月分	勤続20年	23.50	月分	30.55	月分
勤続25年	33.50	月分	41.34	月分	勤続25年	33.50	月分	41.34	月分
勤続35年	47.50	月分	59.28	月分	勤続35年	47.50	月分	59.28	月分
最高限度額	59.28	月分	59.28	月分	最高限度額	59.28	月分	59.28	月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2~20%加算)				その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2~20%加算)			
(退職時特別昇給	無		)						
1人当たり平均支給額	12,964 千円		28,313 千円						

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額です。

## (3) 地域手当 (23年4月1日現在)

支給実績 (22年度決算)		2,141 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)		535,104 円	
支給対象者	支給率	支給対象職員数	国の制度 (支給率)
診療所医師	15 %	1 人	15 %
福岡市に在勤する職員	10 %	2 人	10 %
東京23区に在勤する職員	18 %	1 人	18 %
	%	人	%
	%	人	%

## (4) 特殊勤務手当 (23年4月1日現在)

区 分		全 職 種	
支給実績 (22年度決算)		11,249 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)		175,762 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合 (22年度)		9.8 %	
手当の種類 (手当数)		11	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
市税徴収事務従事手当	一般行政職	市税の徴収事務に従事する職員	徴収額の1000分の3.5
市税徴収事務従事手当 (差押)	一般行政職	市税の徴収事務に従事する職員	差押1件につき500円
感染症防疫作業等手当	一般行政職	感染症防疫作業及び死体処置に従事する職員	1件につき3,000円以内
用地交渉業務手当	一般行政職	用地交渉業務に従事する職員	日額250円
待機手当	企業職	日田市の休日を定める条例に規定する休日に水道施設の応急処置に従事する職員	日額350円
生活保護事務従事手当	一般行政職	生活保護事務に従事する職員	月額4,000円
犬・猫の死体処理手当	一般行政職	犬・猫の死体処理に従事する職員	1件につき500円
待機手当	企業職	日田市の休日を定める条例に規定する休日に簡易水道の応急処置に従事する職員	日額350円
爆発物等取扱い手当	一般行政職	爆発物の取扱い作業の助手として従事する職員	日額1,900円
野犬等捕獲手当	一般行政職	野犬等の捕獲に従事する職員	日額700円
医師業務手当	医師職	診療所に勤務する医師 (診療所長) に対する業務手当	固定給月額30万円並びに往診料、診療報酬収入、予防接種・健康診断手数料及び受託収入の額のそれぞれ3分の1の額並びに毎月の診療報酬の額の100分の5以内の額として市長の定める額

## (5) 時間外勤務手当

支給実績 (22年度決算)	206,800 千円
職員1人当たり平均支給実績 (22年度決算)	376 千円

## (6) その他の手当 (23年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (22年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 配偶者以外の扶養親族である子、父母等 6,500円 配偶者のいない場合、扶養親族1人目 11,000円 特定扶養加算 (16歳~22歳) 5,000円	同じ		117,183 千円	270,630 円
住居手当	借家 (12,000円以上のもの) 最高27,000円 持家 3,000円 (新築6年間は1,500円加算)	同じ 違う	自宅については支給なし	51,424 千円	130,516 円
通勤手当	交通機関利用者限度額 55,000円 片道1km以上から20区分 2,000円から26,800円 (徒歩による通勤には支給なし)	違う	片道2kmから60km以上で2,000円から24,500円	41,352 千円	75,736 円
管理職手当	給料月額×役職別手当率 (8~12%)	違う	—	48,136 千円	546,994 円
宿日直手当	日額6,000円	違う	日額4,200円	1,692 千円	6,191 円

## 6 特別職の報酬等の状況 (23年4月1日現在)

区 分		給 料 月 額 等		
給 料	市 長	697,600 円	(参考) 類似団体における最高/最低額	
	( 副 市 長	( 872,000 円 )	990,000 円 /	500,000 円
	収 入 役	603,500 円	802,000 円 /	395,000 円
	( 議 員	( 710,000 円 )	651,000 円 /	579,000 円
報 酬	議 長	457,000 円	690,000 円 /	359,000 円
	副 議 長	403,000 円	620,000 円 /	295,000 円
	議 員	392,000 円	560,000 円 /	267,600 円
期 末 手 当	市 長	6月期	1.45	月分
	副 市 長	12月期	1.50	月分
		計	2.95	月分
	議 長	6月期	1.45	月分
退 職 手 当	副 議 長	12月期	1.50	月分
	議 員	計	2.95	月分
	備 考	(算定方式) (1期の手当額) (支給時期)		
備 考	市 長	月額×在職月数×0.5×0.5	10,464,000 千円	任期毎
	副 市 長	月額×在職月数×0.4×0.5	6,816,000 千円	任期毎

- (注) 1 給料及び報酬の( )内は、減額措置を行う前の金額です。  
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。  
 3 退職手当は平成19年10月1日～平成23年8月31日までの間は、給料月額に在職月数を乗じて得た額に支給割合を乗じて得た額から、当該額に100分の50を乗じて得た額を減じて得た額となります。

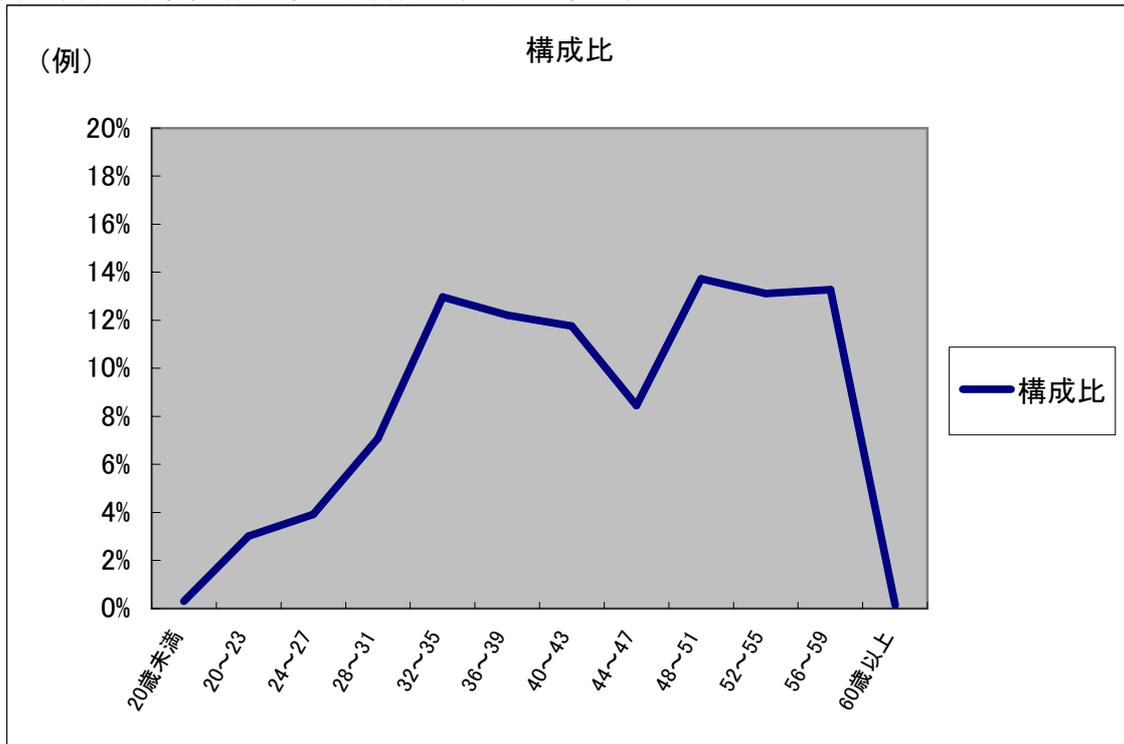
## 7 職員数の状況

### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由 (各年4月1日現在)

部 門	区 分	職 員 数		対 前 年 増 減 数	主 な 増 減 理 由	
		平成22年	平成23年			
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	7	7	0	事務の統廃合縮小による人員減
		総 務	171	167	△ 4	
		税 務	36	36	0	
		労 働	2	2	0	
		農 水	62	64	2	
		商 工	25	27	2	
		土 木	65	64	△ 1	
民 生	95	95	0			
衛 生	57	57	0			
	計	520	519	△ 1	<参考> 人口1万人当たり職員数 72.19 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 57.74 人)	
	教 育 部 門	79	76	△ 3	事務の統廃合縮小による人員減	
	消 防 部 門	0	0	0		
	小 計	599	595	△ 4	<参考> 人口1万人当たり職員数 82.76 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 78.49 人)	
公 営 会 計 部 門	公 営 企 業 等	病 院	0	0	0	事務の統廃合縮小による人員減
		水 道	25	24	△ 1	
		交 通	0	0	0	
		下 水 道	21	20	△ 1	
		そ の 他	24	24	0	
	小 計	70	68	△ 2		
合 計		669	663	△ 6	<参考> 人口1万人当たり職員数 92.22 人	
		[ 785 ]	[ 785 ]	0		

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。  
 2 [ ]内は、条例定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況(平成23年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳 23歳	24歳 27歳	28歳 31歳	32歳 35歳	36歳 39歳	40歳 43歳	44歳 47歳	48歳 51歳	52歳 55歳	56歳 59歳	60歳 以上	計
職員数	2人	20人	26人	47人	86人	81人	78人	56人	91人	87人	88人	1人	663人

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別	19年	20年	21年	22年	23年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	559	552	536	520	519	△ 40 (△ 7.2%)
教育	92	79	78	79	76	△ 16 (△ 17.4%)
消防	0	0	0	0	0	0
普通会計計	651	631	614	599	595	△ 56 (△ 8.6%)
公営企業等会計計	76	76	75	70	68	△ 8 (△ 10.5%)
総合計	727	707	689	669	663	△ 64 (△ 8.8%)

## 8 公営企業職員の状況

### (1) 水道事業

#### ① 職員給与費の状況

##### ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 21年度の総費用に占 める職員給与費比率 %
22年度	千円 588,354	千円 224,194	千円 102,100	% 17.4	% 17.0

区 分	職 員 数 A	給 与 費				1人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	B/A
22年度	人 17	千円 65,896	千円 11,527	千円 24,677	千円 102,100	千円 6,006

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含みません。  
2 職員数は22年3月31日現在の人数です。

(参考) 類似団体平均 1人当たり給与費
千円 6,443

##### イ 特記事項

#### ② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (23年4月1日現在)

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
日 田 市	41.3 歳	332,000 円	387,309 円
団 体 平 均	歳	円	円
事 業 者	歳		円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含みます。

#### ③ 職員の手当の状況

##### ア 期末手当・勤勉手当

日 田 市	一般行政職・団体平均等
1人当たり平均支給額 (22年度) 1,452 千円	1人当たり平均支給額 (22年度) 1,574 千円
(22年度支給割合) 期末手当 2.600 月分 ( ) 月分 勤勉手当 1.35 月分 ( ) 月分	(22年度支給割合) 期末手当 月分 ( ) 月分 勤勉手当 月分 ( ) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置

(注) ( ) 内は、再任用職員に係る支給割合です。

イ 退職手当 (23年4月1日現在)

日 田 市			一般行政職・団体平均等		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	月分	月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	月分	月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	月分	月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	月分	月分
その他の加算措置(定年前早期退職特例措置 (2~20%加算))			その他の加算措置(定年前早期退職特例措置)		
(退職時特別昇給 無 )			(退職時特別昇給 )		
1人当たり平均支給額 - 千円 - 千円			1人当たり平均支給額 千円 千円		

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した職員に支給された平均額です。

ウ 地域手当 (23年4月1日現在)

支給実績 (21年度決算)		— 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額 (21年度決算)		— 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	一般行政職の制度 (支給率)
—	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%

エ 特殊勤務手当 (23年4月1日現在)

区 分		全 職 種	
支給実績 (22年度決算)		19 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)		3,850 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合 (22年度)		29.4 %	
手当の種類 (手当数)		1	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
待機手当	企業職	日田市の休日を定める条例に規定する休日に水道施設の応急処理に従事す	日額350円

オ 時間外勤務手当

支給実績 (22年度決算)	4,873 千円
職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)	305 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含みます。

カ その他の手当 (23年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (22年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 配偶者以外の扶養親族である子、父母等 6,500円 配偶者のいない場合、扶養親族1人目 11,000円 特定扶養加算(16歳~22歳) 5,000円	同じ		3,459 千円	266,115 円
住居手当	借家(12,000円以上のもの) 最高27,000円 持家 3,000円(新築6年間は1,500円加算)	同じ 同じ		1,776 千円	161,455 円
通勤手当	交通機関利用者限度額 55,000円 片道1km以上から20区分 2,000円から26,800円(徒歩による通勤には支給なし)	同じ		869 千円	51,100 円
管理職手当	給料月額×役職別手当率(8~12%)	同じ		531 千円	531,110 円